

令和8年度 7月号

田原交流センターだより

令和8年7月16日
磐田市三ヶ野1045-3
田原交流センター
☎ 35-4269 全戸配布

田原地区防災視察研修会 ～焼津市消防防災センター～

7月9日(木)、田原地区防災視察研修会で焼津市消防防災センターを視察しました。

1階の防災学習室しえ～るでは、地震体験ができ、防災シアターではこれまでの災害などを映像で学べます。しえ～る体験の後、焼津市危機管理課職員による「風水害について」講義をして頂き、海拔が低く、河川がある焼津と共通点の多い田原地区とを交えて説明してもらいました。

その後の質疑応答でも活発な質疑があり、地元での防災活動に繋げて頂けると感じました。

参加者の感想

- ・磐田市の危機管理について学ぶことが必要。市民が防災について気軽に学べる場があるのは大切。
- ・行政との連携により、確実な防災を目指す必要があると実感した。
- ・今日の視察研修について大切に思ったことは、家族と共有したい。



5月交流センターだよりの訂正

センターだより5月号2面に掲載した「令和8年度 田原地域づくり協議会会計予算」《支出》のうち地域おこし推進事業費(赤字部分)の項目が抜けていました。お詫びして訂正いたします。

《収入》	千円	《支出》	千円
地区収入金	5,555	交流センター委託金	1,046
市等交付金	7,509	交流センター事業費	350
その他の収入	254	地域おこし推進事業費	1,244
繰越金	10,805	地区活性化事業費	1,600
		地区事業費	2,400
		地区福祉事業費	797
		団体活動助成金	4,588
		運営費	5,471
		積立金	1,000
		予備費	5,625

*千円未満は省略しています

6月センターほっこり出来事

センター敷地内にハトが巣を作り、2羽のひなが無事に巣立ちました。来年も会えるといいですね。



かえったばかりまだ産毛です



ハトラしい見た目になってきました

田原小学校 昭和61年度卒業制作の撤去について(お願い)

田原小学校に残る卒業制作1点につきまして、安全上の観点から撤去することとなりました。以下の詳細について御確認していただき、御理解・御協力をお願いいたします。

- 1, 卒業制作作成者 昭和61年度卒業生の皆さん(昭和49年度生まれ)
- 2, 撤去の理由

デザインされている木版画が剥がれ、浮いてきている状態です。作品が剥がれた際に廊下に飛び散り児童の安全に危険が生じるため撤去をします。

- 3, 撤去時期について

令和8年8月下旬(予定)

- 4, 撤去前の公開について

撤去前に卒業制作を御覧になりたい方は

7月21日(火)から8月21日(金)の午前8時30分から午後4時
の期間中にお越しください(土日・お盆期間は除きます)。

その際は、事務室職員にお声掛けください。

- 5, その他

問い合わせは右記担当までお願いします。

担当：教頭(上田)
Tel：0538-32-5445



田原幼稚園 ジャガイモ掘り、サツマイモのつるさし

地域の方に御指導をいただきながら育てたジャガイモを収穫しました。「こんなに大きなジャガイモが掘れたよ」「たくさんあったよ」と喜んで掘った子ども達。掘ったジャガイモをみんなで数えてみると、全部で206個！！いくつか家に持ち帰り、「ポテトサラダにして食べた！」「揚げてもらったよ」と嬉しそうに報告してくれました。後日、年長児の提案により、幼稚園でもジャガイモを蒸かして食べました。自分で掘ったジャガイモは格別で、どの子も「おいしい！」と食べていました。

ジャガイモの収穫をした数日後には、サツマイモのつるさしを行いました。地域の方に「葉っぱを山の方に向けて、土の中に入れてね」「入れたら土の布団をやさしく掛けるんだよ」と教えていただきました。「ジャガイモみたいに、おいしいサツマイモができるといいね」「大きいサツマイモがたくさんできるといいな」と、心を込めてつるさしをすることができました。今から収穫が楽しみです。



多くを学んだ修学旅行 ～田原小学校6年生～

6月11日から12日にかけて、6年生が東京へ修学旅行に行ってきました。国会議事堂や職業体験施設「カンドゥー」などを訪れ、たくさんの学びや発見をすることができました。友達と協力しながら行動し、公共の場でのマナーも意識して過ごすことができました。修学旅行で学んだことや経験を、これからの学校生活にも生かしていきます。

＜子どもたちの感想＞

- ・友達が積極的に「あそこ行かなくていいの？」と私やほかの友達のことを気遣ってくれた。東京は私が住んでいるところより何倍も人が多いからこそ、気遣いがとても大事だと感じた。
- ・この修学旅行で学んだ社会での態度を続けて、みんなが気持ちよく過ごせるようにしていきたいと思った。ちゃんと行動に移したい。
- ・いつもの学校では感じられないいろいろなところを見て、教科書に載っていないことをたくさん知れてよかった。みんなで協力して時間を守ることができてうれしかった。

浅草散策



カンドゥー体験



国会議事堂見学



シニアクラブ輪投げ大会

6月15日(月)シニアクラブ輪投げ大会が開催され、5地区10チームが参加しました。
成績は以下の通りです

優勝 三ヶ野兆寿会A
2位 東部台青空会
3位 三ヶ野兆寿会C

おめでとうございます！



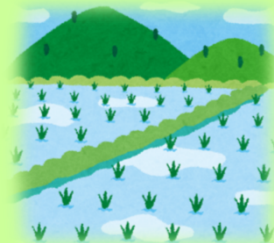
三ヶ野兆寿会Aチームの皆さん

優勝チームは市大会に、
2位・3位のチームは東部大会に出場します。
頑張ってください！



NPO法人スポーツクラブたはら どろんこdeサッカー

6月14日(日)晴耕農園様の田植え前の田んぼにて、毎年恒例のどろんこサッカー大会を開催しました。リレー、どろんこフラッグ、ミニゲームなどの種目を行い、子どもたちは全身どろまみれになりながら、笑顔と笑いの絶えない時間を過ごしました。



田原地域防犯交通安全会議

6月13日(土)田原地域防犯交通安全会議が開催されました。

まず、磐田防犯レディースの皆様より、後を絶たない「オレオレ詐欺」「警察官なりすまし詐欺」等の寸劇が披露されました。

- ・警察は絶対に電話やSNSなどで連絡してこない。
- ・「秘密保持の観点から他の人に相談してはいけません。」と、言われる。
- ・「お金の話が出たら詐欺」

対策として、『疑う』『確認』『相談』が大切とのことです。



続いて御厨駅前交番の方より、自転車の新しい制度「青切符」についての話をいただきました。テレビや新聞等で取り上げられている新しい制度です。

13歳未満の子ども、70歳以上の方は歩道を通行できる。青切符もまず指導から。よほど悪質でなければ1回の違反で反則金は請求されない。とのことです。

7月11日から20日まで交通安全県民運動が実施されています。夏休み期間中は、自転車に乗り行動する子どもたちも多くなります。皆さん交通安全に気を付け楽しい夏を過ごしましょう。



水車の里から ~地区長コラム~

『地域リハビリテーション』

腰痛がひどくなり5月から整形外科のリハビリテーションに週2日治療に通うことになりました。毎回電気(低周波)治療のあと患部を温め、その後理学療法士のマッサージや筋トレを受けています。もっと簡単に治るかと思っていましたが歳のせいか治療の成果は少しづつです。いつも大勢の患者がいて10台程の治療台や電気治療のイスはほぼいっぱい状態。腰が悪い人、膝を治療の人、また肩や腕など治療箇所は様々ですが、ほとんどが高齢の男女。たまに若いアスリートの人や子どももいますが、やはり高齢者が多く、高齢になると肩や膝や腰が悪くなるのは必然なのかなと思ってしまいます。

リハビリテーションはケガや障害の機能回復に使われる事が多い言葉ですが、本来の意味には身体的な医療だけではなく、精神的や社会的な尊厳の回復など広い意味合いがあるようです。

近年地域リハビリテーションという言葉を目にします。これは障害のある人や高齢者などが住み慣れたところでいきいきと生活ができるよう、地域住民をふくめて生活に関わるあらゆる人々や機関が協力し、高齢者等を支え合う活動です。家族はもちろん地域の近所の人、職場の人や街で出会った人達もみんなが思いやりをもって支援できれば素晴らしい地域になると思います。昔は、地域でそういったことが自然にできていたような気がします。

思いやり、支え合い、私の腰痛も、早期に回復することを願っています。



田原地区 社協だより

地域づくり協議会福祉部会

☎ 3 5 - 4 2 6 9

(田原交流センター内)

令和8年7月16日発行

この夏に思う

今年も暑い季節がやってきました。

幸い6月は昨年と比較して過ごしやすく感じましたが、今後を思うと少し憂鬱になります。

でもそれ以上に驚くことが有ります。それは、現在、ドイツをはじめヨーロッパでは、なんと気温が40度を越える日があり大きなニュースになっていることです。緯度を基準に見ると、ミュンヘン(ドイツ)・札幌・ミルウォーキー(アメリカ)がほぼ同じ位置にあり、一説によればビールがうまい地域と言われています。

私の北海道・札幌に対するイメージは夏でも涼しく、ヨーロッパ北部も同様と思っていました。しかし、最近では暑く、日中に「水浴び」することが話題になっています。特に、イギリスを含む各国では、家庭にエアコンがほとんど無く、暑い日乗り切る対策として「水浴び」になるようです。

専門家はこのような状況は明らかに気候変動つまり「地球温暖化の影響」だと言っています。

では、温暖化を防ぐにはどうすればよいのでしょうか。

自分から「地球にやさしい」と思われることを始めていく必要を感じています。私も、小さなことだとは思いますが「プラスチック容器の分別」に取り組んでいます。以前は、可燃ごみとしていたものを「再生化」できると思われる容器類を大切に扱うことにより化石燃料の消費減少を心がけています。

皆さんが実行している良いアイデアを教えてください。

追伸 **第11回はらぺこ応援プロジェクト**を7月1日から始めています。ぜひ皆様のご協力をお願いします。
回収ボックスは、交流センターに置いてあります。

「オレンジ・ランプ」上映会を終えて

6月27日(土)中部地域包括支援センターとの共催で「オレンジ・ランプ」の上映会が行われました。

当日は雨の中、たくさんの地域の方に来ていただきありがとうございました。

この映画は、39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話にもとづく家族の物語です。認知症の家族は、本人の為と思い、その人に代わり色々やってあげてしまう。それは逆によくない。自分でできることは、今までどおり自分でやらせてもらう。思いやりの気持ちが大切。

認知症の方が身近にいる方も、そうでない方も、「考え方が変わった！」との感想が、多く寄せられました。

また、上映会を実施予定ですので、まだご覧になっていない方は、ぜひご覧ください。見終わった後にやさしい気持ちになれる映画です。



願いが叶いますように！ かわせみの会 七夕飾り付け



皆さんの願いごとが
かないますように...



7月7日(火)田原地区高齢者サロン「かわせみの会」を開催しました。

この日は、田原幼稚園の園児と七夕の飾り付けをしました。子どもたちからの歌のプレゼントをいただいたあとみんな、願い事を書いた短冊を笹に付けました。

飾り付けた笹は、センター玄関と田原小学校に飾り、来館者や子どもたちの願い事を書いた短冊が沢山飾られました。

皆さんの願い事が叶うといいですね。

